

令和3年11月17日
愛媛大学

砥部焼伝統工芸士の山田ひろみ氏より 愛媛大学医学部附属病院に陶板を寄贈

愛媛大学医学部附属病院に、砥部焼窯元きよし窯 砥部焼伝統工芸士の山田ひろみ氏から陶板を寄贈いただき、附属病院1号館1階の患者図書室横に作品が設置されました。コロナ禍の厳しい状況の中、患者さんやそのご家族、医療従事者に、絵を通して安らいでもらいたいという思いのもと、花々を描いた約6.3㎡の陶板を作成され、令和3年8月に当院へご寄贈くださいました。

なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、感謝状贈呈式は関係者のみで執り行いました（別紙参照）。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

取材に関する問い合わせ先

愛媛大学医学部総務課

企画・広報チーム

TEL : 089-960-5943

Mail : mekocho@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚（本紙含む）

お知らせ

News

HOME / お知らせ / 当院へ陶板を寄贈いただいた砥部焼作家の山田ひろみ氏へ感謝状を贈呈しました

当院へ陶板を寄贈いただいた砥部焼作家の山田ひろみ氏へ感謝状を贈呈しました

2021年08月19日

このたび、砥部焼作家の山田ひろみ氏から陶板が寄贈され、附属病院1号館1階患者図書室横に作品が設置されました。

令和3年8月16日、杉山隆附属病院院長より山田氏に感謝状を贈呈し、謝意をお伝えしました。

山田氏はコロナ禍の厳しい状況の中、患者さんやそのご家族、医療従事者に絵を通して安らいでほしいという思いから、四季の花々（左からアジサイ、グロリオサ、ダリア、ブラックベリー）を描いた約6.3㎡の陶板を作成し、当院へ寄贈いただきました。

山田氏は「窓辺に花が溢れ、開放感のあるイメージで作成した。患者さんや医療現場の人などの癒しや温かい気持ちになってもらえたら嬉しい」と述べ、久保幸者護部長は「設置された場所は外来、入院問わず様々な人が訪れ日常生活に繋がる通り。陶板の前にベンチを設置しているので、一息つける場所になってほしい」と話しました。



左：山田氏、右：杉山病院長



集合写真



附属病院1号館1階図書室横に設置



山田ひろみ氏からの挨拶